



聖日礼拝プログラム

今週のみことば

司会者 渡邊貞雄師

ONLINE礼拝

讃美★新221	ああ主の瞳	—	同
主の祈り		—	同
讃美★新104	十字架の上に	—	同
交読イザヤ	25:1~9	—	同
祈			渡邊頼子師
聖書	マルコ14:66~72		司会者
説教	「火にあたるペテロ」		渡邊貞雄師
献頌	金★新232	弱き者よわれに	個人個人で
祝	新63	父、御子、御霊の	(起立) 一同
			★印. = 全節朗読

報告 司会者
 受 = な し / 操 = 渡邊師 / A = な し / 報 = 牧師

〒515-0044 三重県松阪市久保町 1445-7 COG 松阪キリスト教会
 TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄
 FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子

2022年4月3日 VOL. 45-14 No. 2370 URL <http://matukyo.com/>
 Email sadao@mctv.ne.jp

ご報告・消息欄

- ▼ 2022年度の新しい踏み出しが許されました。もうしばらく、礼拝は ZOOM を用いたオンラインとなります。覚えてお祈りください。
- ▼ 先週、チャーチ・オブ・ゴッドの年会・総会・聖会等の全てを、終わることができました。新任命がなされました。詳細は「よき道」5月号

- 来週礼拝マルコ15:21~41
- 主 題「主イエスの十字架」

「わたしは：砕かれた人へりくだうた人とともに住む。へりくだった人たちの霊を生かし、砕かれた人たちの心を生かすためである。」
 イザヤ 五七・一五



に掲載される予定です。

- ▼ 4月号の「よき道」は、多少遅れるとのことです。少しお待ち下さい。
- ▼ 今週8日(金)午前、中部教区の教区会が ZOOM で持たれます。5月1日(日)に持たれる、中部教区・合同礼拝の具体的な確認と準備がなされます。



にれ はみ

2022年3月27日
聖日礼拝
マルコ14:32~42
「ゲッセマネの祈り」
説教 渡邊貞雄 師



主イエスが捕縛される直前まで、ゲッセマネの園で弟子たちとお祈りの時を過ごしておられた。

I、「ここに座っていなさい」(32)

祈りはまず「座る」こと。弟子たちを連れて来られた主イエスは、「ここに座る」ことを求められた。私たちの信仰生活が真に祝福され恵みに溢れるため、そして力強く歩むために欠かせないことは、意識して祈りの座を確保することである。

イエスさまはここに座るという訓練を、弟子たちに、そして私たちに求めておられる。それは祈りの指定席と言ってよい。日々その時間を継続できるように、生活を整え歩んでいこう。

II、目を覚ましなさい(34)

主は「悲しみのあまり死ぬほど」だった(34)。これは「私の魂(心)が死ぬほどだ」と叫ぶ姿。自分の内なる痛みを覚えてもがくが、同時に祈る営みを共存させていることに驚きを感じる。

主はこのゲッセマネの園で、文字通り人間として苦悩された。あるガイドは「この場所でイエスの十字架の苦悩

が始まった。人類の罪のすべてを担い、ピラミッドを逆さまにし、その頂点が自らの背中にのしかかるような状態ではなかったか」と説明した。

目を覚ます必要性は誘惑に負けないため(38)、サタンは心は燃えても肉体は弱い存在であること知り、一番弱い処を攻撃する。

III、「もう充分です」(41、42)

また「立ちなさい」「さあ行こう」と語られた。祈る主の言葉は徐々に変化した(36)。始めとは異なる内容で祈っている自分に気づくことがある。敵を呪おうとしたが、祝福する言葉しか出なかった旧約の預言者もいた。

主は三度目も眠っている弟子たちを見て、「もう充分です」と話された。この言葉は、「領収済み」「終わった」「事は決した」などの意味がある。

主は十字架への道を歩むことを決意され、十字架の犠牲で贖いを終わらせたのであった。

神に祈る時、祈り願う内容がかなえられるとともに、祈る者自身の内面が変えられる恩恵を味わうのである。